

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人間の尊厳と自立		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の前向きに生きていく姿勢を支える介護専門職の在り方を学ぶ。 ・ 尊厳ある利用者支援を考え、虐待や迫害のない社会や人間形成を学ぶ。 ・ 何故利用者の尊厳が必要であるのか、介護職の行うべき「利用者に寄り添う支援」を専門職として実践していくためには、どのような知識を吸収すべきかについて学ぶ。 ・ グループワークを通し、自立支援や利用者の尊厳について学ぶ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の人間としての存在意義や差別ない社会の構築について考察し、尊厳を守る考え方を養う。 ・ 介護者・利用者双方の成長・自立や、人間らしさを尊重することの重要性を学ぶ。 ・ 関連法や福祉理念を学習することを通じ、尊厳の在り方への理解を深める。 					
使用テキスト 参考文献 教材	①中央法規 人間の理解 (テキスト) ②教員作成プリント					
単位認定方法	定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等、総合的に評価する					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、利用者の生活支援を行ってきた。 この実務経験を通じ、利用者の尊厳を守り、自立を支援することの重要性への認識を深めてきた。					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人間の尊厳と自立			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月12日	人間の尊厳と利用者主体					テキスト・プリント	
2	4月19日	人権主体と具体化					テキスト・プリント	
3	4月26日	尊厳に関する規定など					テキスト・プリント	
4	5月10日	社会福祉領域での人権・福祉理念の変化1					テキスト・プリント	
5	5月17日	社会福祉領域での人権・福祉理念の変化2					テキスト・プリント	
6	5月24日	人権尊重と権利擁護1					テキスト・プリント	
7	5月31日	人権尊重と権利擁護2					テキスト・プリント	
8	6月7日	自立の概念の多様化					テキスト・プリント	
9	6月14日	自立とは					テキスト・プリント	
10	7月5日	介護を必要とする人の自立と自立支援1					テキスト・プリント	
11	7月19日	介護を必要とする人の自立と自立支援2					テキスト・プリント	
12	7月26日	尊厳の保持と自立支援の考え方1					テキスト・プリント	
13	8月2日	尊厳の保持と自立支援の考え方2					テキスト・プリント	
14	8月9日	前期まとめ					テキスト・プリント	
15	8月23日	定期試験						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人間関係とコミュニケーション		授業形態	講義	担当教員	星野 成美	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割、利用者やその家族との関係づくりなどを理解し、具体的なコミュニケーションの手法や知識を学ぶ。</p> <p>介護を必要とする方の理解や援助関係を構築するとともに、他職種協働におけるコミュニケーションの知識や技法などを身につける。</p>						
到達目標	<p>対人援助職としてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p> <p>チームとしてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 1 人間の理解 必要に応じてプリント</p>						
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度、提出物等の総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所にて、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者や家族との相談援助、コミュニケーションについて講義する。</p>						

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人間関係とコミュニケーション			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月8日	人間と人間関係						テキスト・プリント
2	4月15日	自己覚知						テキスト・プリント
3	4月22日	対人関係におけるコミュニケーション1						テキスト・プリント
4	5月6日	対人関係におけるコミュニケーション2						テキスト・プリント
5	5月13日	対人援助関係とコミュニケーション1						テキスト・プリント
6	5月20日	対人援助関係とコミュニケーション2						テキスト・プリント
7	5月27日	組織におけるコミュニケーション						テキスト・プリント
8	6月3日	介護現場におけるチームマネジメント1						テキスト・プリント
9	6月10日	介護実践におけるチームマネジメント2						テキスト・プリント
10	6月17日	支援を展開するためのチームマネジメント1						テキスト・プリント
11	7月22日	支援を展開するためのチームマネジメント2						テキスト・プリント
12	7月29日	組織におけるチームマネジメント1						テキスト・プリント
13	8月5日	組織におけるチームマネジメント2						テキスト・プリント
14	8月22日	前期定期試験						
15	8月29日	前期のまとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会の理解 1		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	介護福祉士として、介護サービスを提供するにあたり、社会のしくみと、社会保障制度の基本的な考え方と仕組みについて学ぶ					
到達目標	私たちの生活と社会福祉のつながり、社会保障制度の概略を理解する。					
使用テキスト 参考文献 教材	①中央法規 最新 介護福祉士養成講座2 社会の理解 ②教職員テキスト					
単位認定方法						
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)					
教員実務の 経験	長年、通所介護の相談員として、介護保険制度やその他の制度について関わりを持ち その経験を生かすことができる。また社会福祉士の資格を持ち、制度的な面での 理解を深める事ができる。					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会の理解 1			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	後期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品	
1	10月6日	社会と生活の仕組み：生活の基本機能					教科書・プリント	
2	10月13日	〃 : ライフスタイルの変化					〃	
3	10月20日	〃 : 家族、社会、組織の役割りと機能					〃	
4	10月27日	〃 : 地域、地域社会					〃	
5	12月8日	地域共生生活に向けた制度や施策：地域福祉の発展					〃	
6	12月15日	〃 : 地域共生社会、地域包括ケア					〃	
7	12月22日	社会保障制度：基本的な考え方					〃	
8	1月5日	〃 : 日本の社会保障制度の発達					〃	
9	1月12日	〃 : 日本の社会保障制度のしくみ①					〃	
10	1月19日	〃 ; 日本の社会保障制度のしくみ②					〃	
11	1月26日	〃 : 現代社会と社会保障制度					〃	
12	2月2日	高齢者福祉と介護保険制度：高齢者福祉の動向①					〃	
13	2月9日	後期まとめ					〃	
14	2月16日	後期試験						
15		高齢者福祉と介護保険制度：高齢者福祉の動向②					〃	

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	基礎教養		授業形態	演習	担当教員	笹岡 勉
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>① 介護を学んでいくうえで、社会人としてのマナーを身に付けるために、様々な角度から学びを深めていく。</p> <p>② 介護について様々な角度から理解を深める。</p>					
到達目標	<p>① 介護職として社会人としてのマナーを身につけることができる。</p> <p>② 介護職として利用者理解できるようになり、客観的な記録ができるようになる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</p> <p>② 必要に応じてプリント配布</p>					
単位認定方法	<p>① 出欠状況・グループワーク参加状況</p> <p>② 課題・レポート提出状況</p> <p>③ 確認テスト</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		基礎教養			授業形態	演習	担当教員	笹岡 勉
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月13日	オリエンテーション						
2	4月20日	介護福祉士としての働き方						
3	4月27日	介護記録の必要性と目的						
4	5月11日	施設職員から介護の魅力（清瀬療護園）						
5	5月18日	施設職員から介護の魅力						
6	5月25日	利用者の気持ちに気付く						
7	6月1日	相手の立場になって考える						
8	6月8日	利用者の理解を深める						
9	6月29日	利用者の理解を深める						
10	7月6日	認知症サポーター養成講座						
11	7月13日	社会人としてのマナー						
12	7月20日	社会人としてのマナー						
13	8月3日	実習先へのお礼状の書き方						
14	8月17日	利用者の理解を深める						
15	8月31日	前期のまとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 1		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>介護の成り立ち、役割や機能・また倫理観についての学習を通して、自立した生活を提供出来るための基本的な考え方を理解し、自立支援の重要性を学んでいく。</p> <p>また、介護福祉士の基本となる理念や生活を維持・継続する為の支援の仕組みを理解し、介護福祉の専門職としての能力と知識を養う。</p>					
到達目標	<p>基礎的理解として、理念・倫理観・介護福祉の在り方、様々な知識の吸収を狙いとし、文字通りの「介護の基本」の基本知識を理解できる。</p> <p>介護の基本の内容は幅広いため、「介護の基本1」で基礎を固め、他の科目などで習得する知識と連動して覚えていくことにより、多角的に介護の全体像を把握できる事を目的とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 3 介護の基本1</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70~79点の評価点に『B』,60~69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者との相互理解のための知識や技術を身に付けてきた。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 1			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月8日	オリエンテーション・介護福祉とは					テキスト・レジュメ	
2	4月15日	介護福祉を取り巻く状況					テキスト・レジュメ	
3	4月22日	介護の成り立ち・歴史1					テキスト・レジュメ	
4	5月6日	介護福祉の歴史2					テキスト・レジュメ	
5	5月13日	介護の概念の変遷					テキスト・レジュメ	
6	5月20日	介護福祉の基本理念1					テキスト・レジュメ	
7	5月27日	介護福祉の基本理念2					テキスト・レジュメ	
8	6月3日	介護福祉士の活動と役割1					テキスト・レジュメ	
9	6月10日	介護福祉士の活動と役割2					テキスト・レジュメ	
10	6月17日	介護福祉士法について1					テキスト・レジュメ	
11	7月22日	介護福祉士法について2					テキスト・レジュメ	
12	7月29日	介護福祉士の活動の場と役割1					テキスト・レジュメ	
13	8月5日	介護福祉士の活動の場と役割2					テキスト・レジュメ	
14	8月19日	前期まとめ					テキスト・レジュメ	
15	8月26日	定期試験						

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 1			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月7日	介護福祉士を支える団体とは					テキスト・レジュメ	
2	10月14日	介護福祉士の倫理 1					テキスト・レジュメ	
3	10月21日	介護福祉士の倫理 2					テキスト・レジュメ	
4	10月28日	日本介護福祉士会の倫理綱領 1					テキスト・レジュメ	
5	12月2日	日本介護福祉士会の倫理綱領 2					テキスト・レジュメ	
6	12月9日	自立支援の考え方 1					テキスト・レジュメ	
7	12月16日	自立支援の考え方 2					テキスト・レジュメ	
8	12月23日	ICFの考え方 1					テキスト・レジュメ	
9	1月6日	ICFの考え方 2					テキスト・レジュメ	
10	1月13日	自立支援とリハビリテーション					テキスト・レジュメ	
11	1月20日	自立支援の捉え方（グループワーク）					テキスト・レジュメ	
12	1月27日	自立支援と介護予防 1					テキスト・レジュメ	
13	2月3日	自立支援と介護予防 2					テキスト・レジュメ	
14	2月10日	後期まとめ					テキスト・レジュメ	
15	2月17日	後期定期試験						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 2		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>①利用者の生活を理解し、生活の個別性に対応できるために、生活の多様性や社会との関りを理解する。</p> <p>②ICFの視点を理解し、利用者の自立に向けての介護について理解する。</p> <p>③介護保険制度を理解し、制度の中身の把握に努める。</p>					
到達目標	<p>①介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。</p> <p>②対象者となる利用者の能力を引き出し、利用者主体の生活が継続できるようにするために生活全般の支援の視点を養う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①介護福祉士養成講座テキスト 介護の基本2</p> <p>②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<p>①定期試験 60点以上</p> <p>② 出欠席状況</p> <p>③グループワーク参加状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、介護の知識と技術・並びに様々な応用的なスキルを身に付けてきた。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 2			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月4日	オリエンテーション						
2	10月11日	ICFについて（復習）						
3	10月18日	介護福祉の法体制①						
4	10月25日	介護福祉の法体制②						
5	12月6日	介護福祉の法体制③						
6	12月13日	介護福祉の法体制④						
7	12月20日	介護福祉の法体制⑤						
8	1月10日	介護保険制度復習①						
9	1月17日	介護保険制度復習②						
10	1月24日	介護保険制度復習③						
11	1月31日	介護保険制度復習④						
12	2月7日	定期試験対策						
13	2月14日	定期試験						
14	2月17日	まとめ						
15	2月20日	振り返り						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	コミュニケーション技術 1	授業形態	演習	担当教員	高松 浩之
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30 時間	・ 2 単位	開講学期
					前期
授業の学習 内容	<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>コミュニケーションについての基本、具体的な技法を学びながら、対人援助職という観点からコミュニケーションを考えていく。</p> <p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>介護を必要とする方の理解や、支援を行う専門職としてのコミュニケーションの知識や手法を理解し、対象者家族・多職種とのコミュニケーションの在り方を学んでいく。</p>				
到達目標	<p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、コミュニケーションの意義、目的、知識などを理解する。 2、対象者に応じたコミュニケーションの違いが理解できる。 3、他職種でのチームコミュニケーションの意味と、そこでの記録や報告等が理解できる。 				
使用テキスト 参考文献 教材	<p>【使用教科書】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①最新介護福祉士養成講座5「コミュニケーション技術」 (中央法規) ②教員作成プリント 				
単位認定方法	<p>【単位認定方法および基準】</p> <p>定期試験（60点以上） 出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>				
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>				
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者との相互理解のためのコミュニケーション技術を身に付けてきた。</p>				

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		コミュニケーション技術 1			授業形態	演習	担当教員	高松 浩之
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月12日	オリエンテーション 授業の説明						テキスト・プリント
2	4月19日	介護におけるコミュニケーションの意義と目的						テキスト・プリント
3	4月26日	コミュニケーションの基本 1						テキスト・プリント
4	5月10日	コミュニケーションの基本 2						テキスト・プリント
5	5月17日	コミュニケーションの基本技術 1						テキスト・プリント
6	5月24日	コミュニケーションの基本技術 2						テキスト・プリント
7	5月31日	コミュニケーションの基本技術 3						テキスト・プリント
8	6月7日	コミュニケーション態度に関する基本技術②						テキスト・プリント
9	6月14日	言語コミュニケーション						テキスト・プリント
10	7月19日	言語以外のコミュニケーション						テキスト・プリント
11	7月26日	目的別のコミュニケーション技術						テキスト・プリント
12	8月2日	集団におけるコミュニケーション技術						テキスト・プリント
13	8月9日	前期まとめ						テキスト・プリント
14	8月23日	前期試験						テキスト・プリント
15	8月30日	振り返り						テキスト

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術Ⅰ		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	90 時間	・ 6 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>① 介護を必要としている利用者がその人らしく生活するためには、介護者としてどのような家事支援をすることが良いのか考えることが出来るように学習する。</p> <p>②利用者の生活にとっての家事支援の必要性を理解し、利用者がどうすれば自立/自律した生活が送れるのか考えることが出来るようになる。</p>					
到達目標	<p>演習や事例を通して、あらゆる介護場面、生活場面において利用者にとってどのような援助が必要になるかを、色々な視点から考えられるような知識と技術を習得することを目標とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①生活支援技術 (中央法規)</p> <p>②必要に応じてレジュメ・資料を配布</p>					
単位認定方法	<p>①定期試験 60点以上</p> <p>②出欠席状況</p> <p>③グループワークへの参加状況</p> <p>④課題レポートの提出状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所し、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、在宅生活をサポートするにあたって必要な環境整備・家事支援について講義する。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅰ			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月7日	オリエンテーション 生活とは					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
2	4月14日	生活支援とは					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
3	4月21日	ライフサイクルと生活の豊かさ					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
4	4月28日	住まいの役割と機能					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
5	5月12日	生活空間					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
6	5月19日	建物（学校）の寸法を測ってみる					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
7	5月26日	①加齢と生活空間 ②快適な室内環境					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
8	6月2日	安全に暮らすための生活環境					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
9	6月9日	ユニットケア施設について					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
10	6月16日	高齢者・障害者の住まい					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
11	7月21日	介護保険制度からみた住まい					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
12	7月28日	福祉用具について					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
13	8月4日	福祉用具について					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
14	8月18日	まとめ					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
15	8月25日	前期試験試験					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅰ			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月4日	家事支援について					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
2	10月11日	食品の基礎知識					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
3	10月18日	食品衛生					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
4	10月25日	高齢者の身体機能と栄養					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
5	12月13日	被服生活の基礎知識					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
6	12月20日	洗濯の支援					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
7	1月17日	買物の支援					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
8	1月24日	掃除の支援					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
9	1月31日	家庭経営と家計管理					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
10	2月7日	調理実習準備					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
11	〃	〃					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
12	2月14日	裁縫実習					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
13	〃	〃					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
14	2月21日	前期試験					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	
15	2月28日	前期のまとめ					⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト	

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅰ			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	家事支援について						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
2	10月13日	食品の基礎知識						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
3	10月20日	食品衛生						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
4	10月27日	高齢者の身体機能と栄養						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
5	12月15日	被服生活の基礎知識						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
6	12月22日	洗濯の支援						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
7	1月12日	買物の支援						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
8	1月19日	掃除の支援						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
9	1月26日	家庭経営と家計管理						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
10	2月2日	調理実習						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
11	〃	〃						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
12	〃	〃						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
13	2月16日	裁縫実習						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
14	〃	〃						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト
15	〃	〃						⑥ 生活支援技術Ⅰ テキスト

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術Ⅱ		授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	90	時間・6 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>利用者の個別支援技術をもとに、利用者のニーズに合った様々な生活支援のスキルを身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個別援助に必要な技術や知識を学ぶ。 ・様々な現状の対象者を、個別の身体状態に合わせた支援方法を学ぶ。 ・終末期の考え方と具体的な支援方法について学ぶ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に対して、生活支障のない知識の向上や、安全な技術の上達を目指す。 ・対象者に対して、安心で安楽でありさらに自立支援につながる生活場面でのスキルを身につける。 ・介護技術を展開する際、その支援の根拠は何かを考える力を養う。 ・個別援助の際の留意点などを、演習を通して吸収していく。 					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①中央法規 最新・生活支援技術Ⅰ・Ⅱ (テキスト) ②教員作成プリント</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・実技試験 ・レポート 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として高齢者施設に長年勤務し、介護職や相談員として、生活支援のための全般的な介護サービスや相談支援を提供してきた。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅱ			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月11日	座) オリエンテーション・シラバスについて						教科書・プリント
2		座) 生活支援とは(生活支援の基本的な考え方)						〃
3	4月18日	座) ボディメカニクスと介護の留意点						教科書・プリント
4		座) 体位変換と安楽な体位						〃
5	4月25日	座) 睡眠の介護						教科書・プリント
6		演習) シーツのたたみ方						〃
7	5月9日	演習) 2人ベッドメイキング						ユニホーム・靴
8		演習) 1人ベッドメイキング						〃
9	5月16日	演習) 体位変換						ユニホーム・靴
10		演習) 寝たままのベッドメイキング						〃
11	5月23日	座) 移動の意義と目的						ユニホーム・靴
12		座) 車いすの構造						〃
13	5月30日	演習) 起き上がりの介助						教科書・プリント
14		演習) ベッドから車いすへの介助						〃
15	6月6日	ベッドメイキング試験						ユニホーム・靴

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅱ			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使用物品	
1	6月6日	ベッドメイキングテスト					ユニホーム・靴	
2	6月13日	自立に向けた身支度の介助・衣類の着脱介助					ユニホーム・靴	
3		演習) 着脱の介助・寝たままのパジャマ交換					〃	
4	7月8日	演習) 着脱の介助・寝たままのパジャマ交換					ユニホーム・靴	
5		演習) 浴衣交換					〃	
6	7月25日	自立に向けた食事の介助					教科書・プリント	
7		嚥下と口腔ケア					〃	
8	8月1日	演習) 食事介助と口腔ケア					ユニホーム・靴・エプロン・弁当	
9		演習) 食事介助					〃	
10	8月8日	自立に向けた整容の介助					教科書・プリント	
11		〃					〃	
12	8月22日	前期試験						
13		〃						
14	8月29日	演習) 入浴介助					入浴の準備	
15	8月29日	〃					〃	

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅱ			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	自立に向けた清潔の保持の介助						教科書・プリント
2	10月17日	〃						〃
3	10月24日	演習) 手浴・足浴						ユニホーム・靴
4	10月31日	〃						〃
5	12月5日	自立に向けた歩行の介助						教科書・プリント
6	12月12日	演習) 座位から立位、杖歩行の介助						ユニホーム・靴
7	12月19日	自立に向けた排泄の介護						教科書・プリント
8	12月26日	演習) おむつ交換						ユニホーム・靴
9	1月16日	〃						〃
10	1月23日	演習) ポータブルトイレの介助						ユニホーム・靴
11	1月30日	人生の最終段階における介護						教科書・プリント
12	2月6日	〃						〃
13	2月13日	〃						〃
14	2月20日	前期試験						〃
15	2月27日	まとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 1		授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い支援を考えていく上で必要となってくるニーズや生きがい作りにつなげるため、対象者のアセスメントから、介護計画の立案・介護の実施・評価等の流れを学ぶ。 ・個別支援の理解を深め、対象者のニーズを把握する意義を学ぶ。 ・介護過程の一連の流れから、支援の必要性を学ぶ。 					
到達目標	<p>個人のニーズを確実に把握し、アセスメント～計画に移行する事が出来る。 把握すべき事実の内容を理解し、課題に向けての介護計画を立案できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ①中央法規 最新 介護福祉士養成講座9 介護過程 ②教職員テキスト ③レジュメ 					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等、総合的に評価する 提出物</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所で、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者にとって根拠ある介護計画の立案できるかを講義する。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 1			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月7日	オリエンテーション・介護過程の考え方						テキスト・プリント
2	4月15日	介護過程とは1						テキスト・プリント
3	4月22日	介護過程の必要性1						テキスト・プリント
4	5月12日	情報収集について①						テキスト・プリント
5	5月19日	情報収集について②						テキスト・プリント
6	5月26日	アセスメントについて①						テキスト・プリント
7	6月2日	アセスメントについて②						テキスト・プリント
8	6月9日	介護目標について						テキスト・プリント
9	6月2日	計画立案						テキスト・プリント
10	6月9日	実施・評価						テキスト・プリント
11	6月16日	事例検討 1						テキスト・プリント
12	7月7日	事例検討 2						テキスト・プリント
13	7月21日	事例検討 3						テキスト・プリント
14	7月28日	前期まとめ						テキスト・プリント
15	8月25日	前期定期試験						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 2		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>介護過程の応用として事例検討を通して、根拠に基づいた介護過程の展開について学ぶ。 また対象者のより良い生活を実現するための援助方法を考える力を養う。</p>					
到達目標	<p>事例検討を通して、個人のニーズを把握し、アセスメントから計画立案、実践に移行することができる。 利用者個々に把握すべき事実の内容を理解し、課題にむけての介護計画を立案できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①中央法規 最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程 ②教職員テキスト</p>					
単位認定方法						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>施設勤務や通所介護の相談員の経験から、利用者の介護計画を作成し、実施してきた経験がある。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	水曜日	開講学期	後期	使用教室	基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月5日	介護過程の流れの確認						教科書・プリント
2	10月12日	〃 : アセスメント①						〃
3	10月19日	〃 : アセスメント②						〃
4	10月26日	〃 : アセスメント③						〃
5	12月7日	〃 : 目標の設定						〃
6	12月14日	〃 : 計画立案						〃
7	12月21日	事例検討①						〃
8	1月8日	事例検討②						〃
9	1月18日	事例検討③						〃
10	1月25日	事例検討④						〃
11	2月1日	ケアプランと介護過程						〃
12	2月8日	後期試験						〃
13	2月15日	ケアプラン②						〃
14		ケアプラン③						
15		ケアプラン④						〃

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 1		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>① 実習施設の特徴と暮らしの場であることを理解する。</p> <p>② 実習の振り返りを行い、介護実践に必要な知識と技術の統合により、介護の科学的探究を通し実習での学びを深める。また、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。</p>					
到達目標	<p>①実習先の種別を理解した上で、それぞれの施設で学んだ知識と技術を合わせ介護実践について理解を深めることができる。</p> <p>②実習を振り返り、利用者がどのような生活を送っているのかどのような介護が提供されているのか理解することが出来る。</p> <p>③自分の課題を明確にし、次の実習への準備をすることができる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</p> <p>② 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>①筆記試験 (授業内)</p> <p>②出欠状況</p> <p>③課題提出状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>高齢者福祉施設・訪問介護事業所で経験のある教員が、介護実践に必要な知識と技術を統合できるような実習指導や介護に対する思考が養えるよう指導する。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 1			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月13日	オリエンテーション/実習について						
2	4月20日	実習先の種別の確認						テキスト
3	4月27日	実習先の種別の確認						テキスト
4	5月11日	実習先の種別の確認						テキスト
5	5月18日	実習の意義と目的						テキスト
6	5月25日	実習の流れについて						テキスト
7	6月1日	実習書類作成						テキスト
8	6月8日	実習記録について						テキスト
9	6月15日	実習関係書類の書き方について						テキスト
10	7月20日	施設実習の記録について						テキスト
11	7月27日	実習先種別についての確認テスト (50分)						テキスト
12	8月3日	実習準備・実習ファイル作成						実習指導要綱 実習ファイル
13	事前指導	グループスーパービジョン (各担当ごと)						実習指導要綱 実習ファイル
14	事後指導	グループスーパービジョン (各担当ごと)						実習指導要綱 実習ファイル
15	8月31日	実習の振り返り・実習情報交換会						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 2		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>① 実習施設の特徴と暮らしの場であることを理解する。</p> <p>② 実習の振り返りを行い、介護実践に必要な知識と技術の統合により、介護の科学的探究を通し実習での学びを深める。また、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。</p>					
到達目標	<p>①それぞれの施設で学んだ知識と技術を合わせ介護実践について更に理解を深める</p> <p>②実習を振り返り、利用者がどのような生活を送っているのかどのような介護が提供されているのか理解することが出来る。</p> <p>③自分の課題を明確にし、次の実習への準備をすることができる。</p> <p>④実際に現場で、介護過程の展開をし学びを深める。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習 (中央法規)</p> <p>② 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>①筆記試験 (授業内)</p> <p>②出欠状況</p> <p>③課題提出状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』</p> <p>59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>高齢者福祉施設・訪問介護事業所で経験のある教員が、介護実践に必要な知識と技術を統合できるような実習指導や介護に対する思考が養えるよう指導する。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 2			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		1 学年	曜日	金 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月7日	オリエンテーション						
2	10月14日	自己目標作成						
3	10月21日	記録の書き方の確認						
4	10月28日	実習に向けての準備						実習ファイル
5	12月9日	実習の振り返り①						
6	12月16日	実習の振り返り②						
7	12月23日	実習報告						
8	1月6日	実習報告						
9	1月13日	次回の実習に向けての確認						
10	1月20日	次回の実習に向けての確認						
11	1月27日	記録の書き方の確認①						
12	2月3日	記録の書き方の確認						
13	2月10日	次回の実習に向けての準備						
14	2月17日	次回の実習に向けての準備						
15	2月24日	1年間のまとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護実習Ⅰ		授業形態	実習	担当教員	星野・高松・高橋
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	296 時間	・ 6 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。 ・ 利用者が望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養うことができる。 ・ 介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。 					
使用テキスト 参考文献 教材						
単位認定方法	実習評価点 (60点以上) 出勤状況・実習態度・提出物状況等総合的に評価する					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	発達と老化の理解 1		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>成長・発達の過程を理解し、老年期における発達課題や老化に伴うこころとからだの変化による高齢者の日常生活を理解する。</p> <p>高齢者に多い症状や疾患の特徴を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>人間の成長と発達の基礎的理解、人間の発達段階と発達課題、老年期の特徴と発達課題 老化に伴うこころとからだの変化と生活、高齢者の健康、保健医療職との連携方法</p>					
到達目標	<p>発達に関する理論などを知ることができる。</p> <p>高齢者に多い疾患の病態や症状を多職種に説明でき、介護専門職として協働できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>レジュメ</p> <p>最新 介護福祉士養成講座 1 2</p> <p>「発達と老化の理解」</p>					
単位認定方法	<p>定期試験：マークシート方式</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。 さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		発達と老化の理解 1			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月7日	オリエンテーション 人間の成長と発達の基礎的理解、人間の発達段階と発達課題						テキスト
2	4月14日	老年期の特徴と発達課題、老化に伴うところとからだの変化と生活						テキスト
3	4月21日	高齢者の健康 疾患に伴う基本的な症状（免疫、炎症、浮腫）						テキスト レジュメ
4	4月28日	皮膚疾患（褥瘡、疥癬、白癬、老人性皮膚掻痒症）						テキスト レジュメ
5	5月12日	内分泌代謝疾患（糖尿病、脂質異常症、痛風）						テキスト レジュメ
6	5月19日	脳神経疾患（脳血管疾患：脳出血）						テキスト レジュメ
7	5月26日	脳神経疾患（脳血管疾患：ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症）						テキスト レジュメ
8	6月2日	脳神経疾患（脳血管疾患：くも膜下出血）						テキスト レジュメ
9	6月9日	消化器系疾患（消化液について）						テキスト レジュメ
10	6月16日	消化器系疾患（胃潰瘍、十二指腸潰瘍）						テキスト レジュメ
11	7月21日	消化器系疾患（逆流性食道炎、感染性胃腸炎、胆嚢炎・胆管炎）						テキスト レジュメ
12	7月28日	消化器系疾患（感染性胃腸炎、胆嚢炎・胆管炎、（腸閉塞）						テキスト レジュメ
13	8月4日	消化器系疾患（肝硬変）						テキスト レジュメ
14	8月18日	腎・泌尿器疾患（慢性腎不全：糖尿病性腎臓病→慢性糸球体腎炎→腎硬化症→囊胞腎）						テキスト レジュメ
15	8月25日	定期試験						

2022 年度 介護福祉学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	発達と老化の理解 2		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>成長・発達の過程を理解し、老年期における発達課題や老化に伴うこころとからだの変化による高齢者の日常生活を理解する。</p> <p>高齢者に多い症状や疾患の特徴を理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>人間の成長と発達の基礎的理解、人間の発達段階と発達課題、老年期の特徴と発達課題</p> <p>老化に伴うこころとからだの変化と生活、高齢者の健康、保健医療職との連携方法</p>					
到達目標	<p>高齢者に多い疾患の病態や症状を多職種に説明でき、介護専門職として協働できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>レジュメ</p> <p>最新 介護福祉士養成講座 12</p> <p>「発達と老化の理解」</p>					
単位認定方法	<p>定期試験：マークシート方式</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。</p> <p>さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		発達と老化の理解 2			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月6日	腎・泌尿器疾患（腎盂腎炎、膀胱炎、前立腺肥大症、尿路結石）						テキスト レジュメ
2	10月13日	循環器疾患（高血圧、心筋梗塞・狭心症、閉塞性動脈硬化症）						テキスト レジュメ
3	10月20日	循環器疾患（心不全：肺水腫、心臓喘息、肝肥大、腹水、浮腫）						テキスト レジュメ
4	10月27日	循環器疾患（不整脈）						テキスト レジュメ
5	12月8日	呼吸器疾患（気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患）						テキスト レジュメ
6	12月15日	呼吸器疾患（肺炎、結核）						テキスト レジュメ
7	12月22日	骨格系・筋系疾患（骨粗鬆症、骨折、変形性関節症、変形性脊椎症）						テキスト レジュメ
8	1月5日	骨格系・筋系疾患（変形性関節症、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症）						テキスト レジュメ
9	1月12日	感覚器疾患（眼科：白内障、緑内障、加齢黄斑変性。聴覚：老人性難聴。歯科：虫歯、歯周病、ドライマウス）						テキスト レジュメ
10	1月19日	環境障害（熱中症、低体温症）						テキスト レジュメ
11	1月26日	悪性新生物（胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん）						テキスト レジュメ
12	2月2日	保健医療職との連携						テキスト レジュメ
13	2月9日	まとめ						テキスト レジュメ
14	2月16日	定期試験						
15		解答解説						定期試験問題

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	認知症の理解 1		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫	
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>認知症の原因疾患と、それに元凶板支援方法について学ぶ。医学面・心理面から認知症の人を理解し、基本的な生活支援方法について学習する。</p> <p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>認知症のある人が、その人らしく生きていくための支援方法について、その知識と技術を習得する。さらに多職種連携について学習する。</p>						
到達目標	<p>【授業終了時の達成課題 (到達目標)】</p> <p>認知症とは何かを理解し、個別的ケアを提供するための知識や技術を習得する。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>最新介護福祉士養成講座 13 「認知症の理解」 (中央法規)</p>						
単位認定方法	<p>【単位認定方法】</p> <p>定期試験 (60点以上) 出席日数、グループワーク・レポート提出 授業態度等、総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、介護施設で介護職員として勤務。その後、看護師資格を取得後病院勤務経験から、認知症の疾患と必要なケアについて講義する。</p>						

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		認知症の理解 1			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	オリエンテーション/認知症とは						テキスト
2	10月12日	認知症ケアと歴史						テキスト
3	10月19日	認知症ケアの理念と視点						テキスト
4	10月26日	脳の仕組み						テキスト
5	12月7日	認知症の人の行動・心理症状						テキスト
6	12月14日	認知症の原因疾患						テキスト
7	12月21日	認知症の診断と治療/認知症の予防						テキスト
8	1月11日	認知症の人の心理理解						テキスト
9	1月18日	認知症の人の体験理解①						テキスト
10	1月25日	認知症の人の体験理解②						テキスト
11	2月1日	認知機能の変化が生活に及ぼす影響						テキスト
12	2月8日	試験						テキスト
13	2月15日	生活を続ける						テキスト
14		若年性認知症の人の生活理解と支援						テキスト
15		後期授業の振り返りとまとめ						テキスト

2022 年度 介護福祉学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	障害の理解 1		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>【授業の目的・ねらい】 障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p>					
到達目標	様々な障害があることを知り、平等に対応できる考えを習得することができる。					
使用テキスト 参考文献 教材	最新 介護福祉士養成講座 14 「障害の理解」					
単位認定方法	定期試験：マークシート方式					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		障害の理解 1			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月7日	オリエンテーション 障害の概念						テキスト
2	4月14日	(健康診断)						テキスト
3	4月21日	障害者福祉の基本的理念 障害のある人の心理						テキスト
4	4月28日	視覚障害						テキスト
5	5月12日	聴覚障害						テキスト
6	5月19日	聴覚・言語障害、重複障害						テキスト
7	5月26日	肢体不自由 (麻痺・拘縮)						テキスト
8	6月2日	肢体不自由 (脳性麻痺)						テキスト
9	6月9日	脊髄損傷						テキスト
10	6月16日	知的障害、精神障害						テキスト
11	7月21日	発達障害、高次脳機能障害						テキスト
12	7月28日	重症心身障害						テキスト
13	8月4日	難病 (パーキンソン病、リウマチ)						テキスト
14	8月18日	振り返り						テキスト
15	8月25日	定期試験						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	障害の理解 2		授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>【授業の目的・ねらい】 障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p>					
到達目標	様々な障害があることを知り、平等に対応できる考えを習得することができる。					
使用テキスト 参考文献 教材	最新介護福祉士養成講座 1 4 「障害の理解」					
単位認定方法	定期試験：マークシート方式					
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		障害の理解 2			授業形態	講義	担当教員	川崎 英夫
配当年次		1 学年	曜日	木 曜日	開講学期	後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月6日	ヒト免疫不全ウイルス						テキスト
2	10月13日	肝機能障害						テキスト
3	10月20日	腎機能障害						テキスト 腎・泌尿器レジュメ
4	10月27日	膀胱・直腸障害						テキスト
5	12月8日	小腸機能障害						テキスト
6	12月15日	心臓機能障害						テキスト 循環器レジュメ
7	12月22日	呼吸機能障害						テキスト 呼吸器レジュメ
8	1月5日	地域のサポート体制						テキスト
9	1月12日	チームづくり						テキスト
10	1月19日	家族の支援						テキスト
11	1月26日	筋萎縮性側索硬化症						講演
12	2月2日	筋ジストロフィー						講演
13	2月9日	振り返り						テキスト
14	2月16日	定期試験						
15		解答解説						定期試験問題用紙

2022 年度 介護福祉学科

授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	こころとからだのしくみ1		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>・介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理や機能を理解する学習とする。</p> <p>・介護サービスを実際に提供する際に必要な観察力、判断力の根拠となる人間のこころのしくみとからだのしくみの基礎を学ぶ。</p>					
到達目標	<p>①介護実践に必要な観察力、判断力の基礎となる人間の心理について理解できる。</p> <p>②生活支援を行う際に必要な基礎的な知識として、生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>・最新 介護福祉士養成講座 ⑪ 中央法規</p> <p>・必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>・定期試験 (60点以上)</p> <p>・出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ1			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月11日	ガイダンス						テキスト・配布資料
2	4月18日	健康の概念（健康寿命・ホメオスタシス）						テキスト・配布資料
3	4月25日	マズローの欲求						テキスト・配布資料
4	5月9日	自己実現と尊厳・発達段階						テキスト・配布資料
5	5月16日	小テスト						テキスト・配布資料
6	5月23日	脳のしくみ						テキスト・配布資料
7	5月30日	学習・記憶・思考・認知のしくみ						テキスト・配布資料
8	6月6日	感情・意欲・適応のしくみ						テキスト・配布資料
9	6月13日	適応規制・防衛機制						テキスト・配布資料
10	7月18日	高齢者の人格分類						テキスト・配布資料
11	7月25日	小テスト						テキスト・配布資料
12	8月1日	こころのしくみ総復習						テキスト・配布資料
13	8月8日	こころのしくみ総復習						テキスト・配布資料
14	8月22日	前期試験						試験問題
15	8月29日	前期試験問題の解説						テキスト・配布資料

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	こころとからだのしくみ2		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>①介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する学習とする。</p> <p>②こころとからだのしくみ1の知識を基に、利用者者の身支度や食事、排泄などの生活を支える介護実践との関係を学ぶ。</p>					
到達目標	<p>①介護実践に必要な観察力、判断力の基礎となる人間の心理、人体構造と機能の基礎的な知識を理解できる。</p> <p>②生活支援を行う際に必要な基礎的な知識として、生活支援の場面に応じた、こころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・最新 介護福祉士養成講座 ① 中央法規 ・必要に応じてプリント 					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 (60点以上) ・出席日数、授業態度、提出物等、総合的に評価する 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ2			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月12日	シラバス説明・細胞と遺伝子のしくみ					テキスト・配布資料	
2	4月19日	身体各部の名称					テキスト・配布資料	
3	4月26日	骨・関節のしくみ					テキスト・配布資料	
4	5月10日	筋肉のしくみ					テキスト・配布資料	
5	5月17日	内臓のしくみ					テキスト・配布資料	
6	5月24日	脳・神経のしくみ					テキスト・配布資料	
7	5月31日	交感神経・副交感神経					テキスト・配布資料	
8	6月7日	呼吸器のしくみ					テキスト・配布資料	
9	6月14日	循環器のしくみ					テキスト・配布資料	
10	7月19日	呼吸器・循環器のしくみ					テキスト・配布資料	
11	7月26日	消化器のしくみ					テキスト・配布資料	
12	8月2日	内分泌のしくみ					テキスト・配布資料	
13	8月9日	血液・体液・リンパのしくみ					テキスト・配布資料	
14	8月23日	前期試験					試験問題	
15	8月30日	前期試験の解説・介護職に必要な薬の知識					テキスト・配布資料	

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ2			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	火曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月4日	移動のしくみ						テキスト・配布資料
2	10月11日	心身に機能低下が移動に及ぼす影響 皮膚のしくみ						テキスト・配布資料
3	10月18日	変化の気づきと対応・緊急時の対応						テキスト・配布資料
4	10月25日	身支度 顔面のしくみ						テキスト・配布資料
5	11月8日	身支度 目のしくみ						テキスト・配布資料
6	12月6日	身支度 耳のしくみ						テキスト・配布資料
7	12月13日	身支度 口・爪・髪の毛のしくみ						テキスト・配布資料
8	12月20日	食事のしくみ 人体の構造・しくみ全般						テキスト・配布資料
9	1月10日	食事のしくみ 治療食・低栄養について						テキスト・配布資料
10	1月17日	入浴・清潔 人体のメカニズムについて						テキスト・配布資料
11	1月24日	入浴・清潔について 変化の気づき						テキスト・配布資料
12	1月31日	排泄のしくみ 排尿について						テキスト・配布資料
13	2月7日	後期試験						試験問題
14	2月14日	排泄のしくみ 排便について						テキスト・配布資料
15	調整	障害とケアの観察について						テキスト・配布資料

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医療的ケア 1		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	1 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>①医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する学習とする。</p> <p>②医療的ケアの実施に関する制度の概要及び医療的ケアと関連付けた「個人の尊厳と自立」、「医療的ケアの倫理上の留意点」、「医療的ケアを実施する為の感染予防」、「安全管理体制」等についての基礎的知識を理解できるようにする。</p>					
到達目標	<p>① 喀痰吸引・経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう、基礎的知識、実施手順方法を理解できるようにする。</p> <p>② 必要物品の準備が出来、安全・確実に行えるように知識・技術を身に付けることができる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新 介護福祉士養成講座 「医療的ケア」 中央法規</p> <p>改定 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 (60点以上) ・ 出欠席状況、授業態度を総合的に評価する。 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア 1			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		1 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月3日	清潔保持と感染予防 ①正しい手洗いの仕方の練習 ②うがいの仕方を説明できる					テキスト・配布資料	
2	10月17日	職員の感染予防 ①職員自身の健康管理について理解できる ②感染予防としての手袋やガウンの装着方法について					テキスト・配布資料	
3	10月31日	身体・精神の健康 ①バイタルサインの説明が出来る ②バイタルサインの正常値を説明できる。					テキスト・配布資料	
4	12月5日	急変状態について理解できる ①急変時の対応と事前準備を説明できる ②急変時の報告について説明できる					テキスト・配布資料	
5	12月12日	喀痰吸引で使用する器具・機材とそのしくみ 清潔の保持について					テキスト・配布資料	
6	12月19日	吸引の必要備品が言える 吸引器・器具・機材のしくみを説明できる					テキスト・配布資料	
7	12月26日	吸引の技術と留意点（吸引前と吸引後） 吸引を行う利用者の状態観察					テキスト・配布資料	
8	1月16日	人工呼吸器装着利用者の説明及び吸引時の留意点					テキスト・配布資料	
9	1月23日	喀痰吸引に伴うケア 痰を出しやすくする体位					テキスト・配布資料	
10	1月30日	喀痰吸引により生じる危険や事後の安全確認					テキスト・配布資料	
11	2月6日	呼吸のしくみと働き					テキスト・配布資料	
12	2月13日	後期試験					試験問題	
13	調整	喀痰吸引とは					テキスト・配布資料	
14	調整	経管栄養法					テキスト・配布資料	
15	調整	救急蘇生法					テキスト・配布資料	

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	人間関係とコミュニケーション		授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30 時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>1年生での学びの振り返り、再度人の心の動き（心理学）を色々な角度から学び、そこから人間関係をどのように形成していくことが必要なかを再確認する。</p> <p>介護を必要とする方の理解や援助関係を構築するとともに、他職種協働におけるコミュニケーションの知識や技法などを身につける。</p>					
到達目標	<p>対人援助職としてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p> <p>チームとしてのコミュニケーションのあり方を理解する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 1 人間の理解 必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度、提出物等の総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所にて、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、利用者や家族との相談援助、コミュニケーションについて講義する。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		人間関係とコミュニケーション			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月6日	人間と人間関係						
2	10月13日	自己覚知						
3	10月20日	ジョハリの窓						
4	10月27日	発達心理学からみた人間関係①						
5	11月10日	社会心理学からみた人間関係①						
6	11月17日	人間関係とストレス						
7	11月24日	対人関係におけるコミュニケーション						
8	12月2日	組織におけるコミュニケーション						
9	12月9日	チームマネジメントの意義						
10	12月15日	ケアを展開する為のチームマネジメント①						
11	12月22日	定期試験						
12	1月6日	ケアを展開する為のチームマネジメント②						
13	1月13日	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント						
14	1月20日	組織の目標達成のためのチームマネジメント						
15	1月27日	まとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	社会の理解 2		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>前年度に引き続き「社会の理解」第4章、5章、6章について学び、知識を広げる。 授業の中で、介護保険制度に関連する社会状況、制度を理解する。 また、社会の法制度を学ぶことによって、高齢者・障害者施策の在り方、支援の方向性を考えられる力を身に付け、自身が実務を行う際に、自信を持って業務を行える様になる事が目的である。</p>					
到達目標	<p>介護保険制度の関する社会状況、制度を理解する。 また、障害者保健福祉・介護実践の観点で対象者を支援する制度や動向の進展を学び、考え、社会情勢と関連する知識を深めていく。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 2 「社会の理解」中央法規</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度、グループワーク等</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者対応や介護の知識を身に付けてきた。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		社会の理解 2			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月3日	オリエンテーション・高齢者保健福祉の動向					テキスト・レジュメ	
2	10月17日	高齢者保健福祉に関連する法体系 1					テキスト・レジュメ	
3	10月24日	高齢者保健福祉に関連する法体系 2					テキスト・レジュメ	
4	10月31日	介護保険制度 1					テキスト・レジュメ	
5	11月7日	介護保険制度 2					テキスト・レジュメ	
6	11月21日	介護保険制度 3					テキスト・レジュメ	
7	11月28日	障害者保健福祉の動向					テキスト・レジュメ	
8	12月5日	障害者保健福祉に関連する法体系					テキスト・レジュメ	
9	12月12日	定期試験対策					テキスト・レジュメ	
10	12月19日	定期試験					テキスト・レジュメ	
11	12月26日	障害者総合支援制度 1					テキスト・レジュメ	
12	1月16日	障害者総合支援制度 2					テキスト・レジュメ	
13	1月30日	介護実践に関連する諸制度 1					テキスト・レジュメ	
14	2月3日	介護実践に関連する諸制度 2					テキスト・レジュメ	
15	2月6日	後期まとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	レクリエーション支援法		授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60 時間	・ 4 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションの歴史や意義を理解し、支援の方法や技術を習得する。 ・利用者の個々のニーズや状態に合わせ安全で楽しめるレクリエーションが展開できる。 ・季節や環境に合わせたレクリエーションを展開する。 ・レクリエーションの展開に当たり、具体的に計画を立案する事ができる。 					
到達目標	レクリエーションの必要性を理解する事が出来、具体的にレクリエーション活動を提供し、実践する事が出来る。さらに利用者の個々のニーズに合わせたレクを展開する事が出来る。					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ①教員テキスト ②日本レクリエーション協会テキスト ③教員プリント 					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 実技試験 ・ レポート 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。</p> <p>80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	担当教員は通所介護に勤務しており、高齢者のレクリエーションに長年携わっていた。					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		レクリエーション支援法			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	オリエンテーション/グループづくり						プリント
2	4月15日	レクリエーションとは①						プリント
3	4月22日	〃②						プリント
4	5月6日	福祉と福祉活動						プリント
5	5月13日	レクリエーションの支援のポイント						プリント
6	5月20日	レクから考える「こころと体」						プリント
7	5月27日	レクリエーションの計画立案						プリント
8	6月3日	アイスブレイキング						プリント
9	6月10日	レクリエーションの進行						プリント
10	7月22日	リスクマネジメント						プリント
11	7月29日	安全なレクリエーション活動						プリント
12	8月5日	前期のまとめ						プリント
13	8月19日	前期試験						プリント
14	8月26日	ゲームの進行と、司会の役割						プリント
15		事前指導：施設訪問計画書作成①						プリント

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		レクリエーション支援法			授業形態	演習	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	203・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月1日	安全なレクリエーション						プリント
2	10月8日	事前指導：施設訪問計画書作成①						〃
3	10月22日	事前指導：施設訪問計画書作成②						
4	10/29日	練習①						
5	11月5日	練習②						
6	11月12日	練習③						
7	11月19日	校内発表①						ユニホーム・靴
8	11月26日	校内発表②						〃
9	12月3日	校内発表③						〃
10	12月10日	校内発表④						〃
11	12月17日	カード作り						ノリ、ハサミ
12	12月24日	国試対策						プリント
13	1月7日	〃						〃
14	1月14日	〃						〃
15	1月21日							〃

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	情報処理		授業形態	講義	担当教員	重田 伸一
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代社会においてなくてはならないのが情報処理技術である。 ・ この授業では、特に介護現場において使用する情報処理技術を学ぶ。 ・ また、諸法律・情報セキュリティの学習は、現代社会での被害者・加害者にならないための最低限のスキルでもある。 (文書作成、表計算、プレゼンテーション技術、著作権、個人情報保護、情報セキュリティ) 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータを道具として利用できる基本知識と技術の習得、及び介護現場に必要な最低限のスキルを身につけ、理解する ・ 著作権・個人情報保護・セキュリティについて理解する 					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めての著作権講座 ・ 自作のテキスト 					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内試験 ・ 課題提出 ・ 筆記試験 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		情報処理			授業形態	講義	担当教員	重田 伸一
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	201・202・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	ガイダンス アイスブレイク						筆記用具
2	4月20日	文書処理 文書入力的基础						テキスト
3	4月27日	文書処理 文書編集						テキスト
4	5月11日	文書処理 文書作成						テキスト
5	5月18日	文書処理 文書作成						テキスト
6	5月25日	文書処理 文書作成						テキスト
7	6月1日	文書処理 文書作成						テキスト
8	6月8日	文書処理 (授業内課題試験)						テキスト
9	7月20日	諸法律 (著作権法・個人情報保護法)、情報セキュリティの基礎						テキスト
10	7月27日	諸法律 (著作権法・個人情報保護法)、情報セキュリティの基礎						テキスト
11	8月3日	諸法律 (著作権法・個人情報保護法)、情報セキュリティの基礎						テキスト
12	8月10日	(自宅学習日)						テキスト
13	8月17日	諸法律 (著作権法・個人情報保護法)、情報セキュリティの基礎						テキスト
14	8月24日	前期試験 諸法律・情報セキュリティ						
15	8月31日	筆記試験 試験返し						テキスト

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		情報処理			授業形態	講義	担当教員	重田 伸一
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201・202・基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	10月5日	表計算の基礎						テキスト
2	10月12日	表計算の基礎						テキスト
3	10月19日	表計算の基礎						テキスト
4	10月26日	表計算の基礎						テキスト
5	11月2日	表計算の応用						テキスト
6	11月9日	表計算の応用						テキスト
7	11月16日	表計算の応用						テキスト
8	11月30日	表計算の応用						テキスト
9	12月7日	表計算の応用						テキスト
10	12月14日	表計算（授業内課題試験）						テキスト
11	12月21日	プレゼンテーション(後期試験日だが授業)						テキスト
12	1月12日	プレゼンテーション 課題作成						テキスト
13	1月18日	プレゼンテーション 課題作成						テキスト
14	1月25日	プレゼンテーション 課題作成(自宅で課題)						テキスト
15	2月1日	プレゼンテーション 課題提出						テキスト

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の応用 1		授業形態	講義	担当教員	笹岡 勉
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・手話を通して、聴覚障害についての理解を深める。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションツールの一つとして、手話を習得し聴覚障害者とコミュニケーションを図ることが出来る。 					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・今すぐはじめる手話テキスト 聴さんと学ぼう！ 一般社団法人全日本ろうあ連盟 					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠席状況 ・ 授業への参加態度 ・ 定期試験 (60点以上) 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、介護施設・通所介護に勤務した経験から聴覚障害者への理解を深め コミュニケーションの図り方を講義する。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の応用 1			授業形態	講義	担当教員	笹岡 勉
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	オリエンテーション						
2	4月20日	手話						テキスト
3	4月27日	手話						テキスト
4	5月11日	手話						テキスト
5	5月18日	手話						テキスト
6	5月25日	手話						テキスト
7	6月1日	手話						テキスト
8	6月8日	手話						テキスト
9	7月20日	手話						テキスト
10	7月27日	手話						テキスト
11	8月3日	手話						テキスト
12	8月24日	手話						テキスト
13	8月31日	前期試験						
14	9月7日	前期試験まとめ						
15	9月14日	まとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の応用 2		授業形態	講義	担当教員	笹岡 勉
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	介護福祉士の国家試験に向けて、基礎知識の定着及び傾向と対策について学ぶ事ができる。					
到達目標	介護福祉士国家試験の合格ラインまで、学生の学力を引き上げることができる。					
使用テキスト 参考文献 教材	介護福祉士国家試験過去問題 (中央法規) 介護福祉士国家試験予想問題 (中央法規)					
単位認定方法						
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	長年、介護教員として国家試験対策を行ってきた。また介護福祉士の実技試験の試験官として長年携わってきた経験から、国家試験対策の講義を行う。					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の応用2			授業形態	講義	担当教員	笹岡 勉
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月5日	生活支援技術					プリント	
2	10月12日	生活支援技術					プリント	
3	10月19日	介護の基本・人間の尊厳と自立					プリント	
4	10月26日	介護の基本・人間の尊厳と自立					プリント	
5	11月9日	介護の基本・人間の尊厳と自立					プリント	
6	11月16日	社会の理解					プリント	
7	11月23日	社会の理解					プリント	
8	11月30日	社会の理解					プリント	
9	12月7日	後期テスト					プリント	
10	12月14日	認知症の理解					プリント	
11	12月21日	認知症の理解					プリント	
12	1月11日	総合問題					プリント	
13	1月18日	総合問題					プリント	
14	1月25日	総合問題					プリント	
15	2月1日	まとめ					プリント	

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 3		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間 ・ 4 単位	開講学期	前期 ・ 後期
授業の学習 内容	<p>公的支援や地域連携・安全確保や事故への対応といったリスクマネジメントの視点、また、多職種協働による介護を実践し、介護福祉を支える機能や役割を学んでいく。介護を必要とする人の生活を支援するという観点から、介護福祉士の理念や自立ある生活を継続する為の支援の仕組みを理解し、介護福祉全般の知識向上を目的とする。</p>					
到達目標	<p>介護を必要とする人の理解を深め、介護福祉士としての基本的知識を学習する事で理解でき、実践での業務に対してのイメージが高められる様になる。 また、1年次で学んだ介護の基本をさらに応用し、知識の向上を高めることを目標とする。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等を総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、介護の知識と技術・並びに様々な応用的なスキルを身に付けてきた。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 3			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月12日	オリエンテーション・生活の理解1					テキスト・プリント	
2	4月19日	生活の理解2					テキスト・プリント	
3	4月26日	介護福祉を必要とする人の暮らし					テキスト・プリント	
4	5月10日	生活ニーズの理解1					テキスト・プリント	
5	5月17日	生活ニーズの理解2					テキスト・プリント	
6	5月24日	フォーマルサービス・インフォーマルサービス1					テキスト・プリント	
7	5月31日	フォーマルサービス・インフォーマルサービス2					テキスト・プリント	
8	6月7日	地域連携					テキスト・プリント	
9	6月21日	介護における安全の理解					テキスト・プリント	
10	7月19日	リスクマネジメント1					テキスト・プリント	
11	7月26日	リスクマネジメント2					テキスト・プリント	
12	8月2日	感染症対策1					テキスト・プリント	
13	8月9日	前期まとめ					テキスト・プリント	
14	8月23日	定期試験					テキスト・プリント	
15	8月30日	振り返り						

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 3			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月4日	多職種連携・協働の必要性 1					テキスト・レジュメ	
2	10月11日	多職種連携・協働の必要性 2					テキスト・レジュメ	
3	10月18日	多職種連携・協働に求められる能力 1					テキスト・レジュメ	
4	10月25日	多職種連携・協働に求められる能力 2					テキスト・レジュメ	
5	11月1日	多職種の役割と機能 1					テキスト・レジュメ	
6	11月8日	多職種の役割と機能 2					テキスト・レジュメ	
7	11月15日	多職種連携・協働の実際					テキスト・レジュメ	
8	11月22日	健康管理の意義と目的 1					テキスト・レジュメ	
9	11月29日	健康管理の意義と目的 2					テキスト・レジュメ	
10	12月6日	こころの健康管理の意義					テキスト・レジュメ	
11	12月13日	後期まとめ					テキスト・レジュメ	
12	12月20日	定期試験					テキスト・レジュメ	
13	1月10日	身体健康管理					テキスト・レジュメ	
14	1月17日	労働環境の整備 1					テキスト・レジュメ	
15	1月31日	振り返り						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護の基本 4		授業形態	講義	担当教員	星野 成美	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>① 介護職が安全に働ける環境について学ぶ。</p> <p>② 介護現場におけるリスクマネジメントの必要性を理解し、安全に安心して働いていけるよう基本的な知識と技術のエビデンスに基づき学ぶ。</p>						
到達目標	<p>① 介護現場におけるリスクマネジメントの必要性を理解し、安全に安心して働けるようになる。</p> <p>② 介護職の心身の健康管理と労働環境について理解する。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>① 介護福祉士養成講座 ⑥ 中央法規</p> <p>② 必要に応じてプリント</p>						
単位認定方法	<p>① 定期試験 60点以上</p> <p>② 出欠席状況</p> <p>③ グループワークへの参加状況</p> <p>④ 課題レポートの提出状況</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設・訪問介護事業所し、ユニットリーダー・サービス提供責任者の経験のある教員が、安全・安心して働くための環境や災害時の対応について色々な角度から演習を含め講義する。</p>						

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護の基本 4			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	火曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月5日	感染症対策について						
2	10月12日	感染症対策について						
3	10月19日	労働の安全について						
4	10月26日	労働安全と環境整備						
5	11月1日	労働安全と環境整備						
6	11月8日	労働環境について						
7	11月15日	労働環境について						
8	11月22日	介護労働の特性と健康問題						
9	11月29日	災害について						
10	12月6日	災害について						
11	12月13日	災害について						
12	12月20日	災害について						
13	1月10日	災害時の介護福祉士の役割						
14	1月17日	災害時の介護福祉士の役割						
15	1月31日	2年間のまとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	コミュニケーション技術 2		授業形態	演習	担当教員	高松 浩之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間・2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者及び利用者家族、また職員間で行ってきたコミュニケーションの展開方法を学ぶ。 ・コミュニケーションの手法や展開など、事例などを通して学ぶ。 ・コミュニケーションが困難な対象者への具体的な支援の知識を学ぶ。 ・利用者や、様々な状況に応じたコミュニケーション技術を身に付けられる授業を展開することを目的とする。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを通して、利用者への理解を広げていく。 ・全ての利用者とコミュニケーションを行っていく為の手法を身につける。 ・コミュニケーションスキルを向上し、円滑な対人援助の形成を行っていく。 ・対象者に関わる介護者の技術と知識の向上を図る。 					
使用テキスト 参考文献 教材	①中央法規 コミュニケーション技術II (テキスト) ②教員作成プリント					
単位認定方法	定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度、グループワーク等 総合的に評価する					
成績評価方法 基準	授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者との相互理解のためのコミュニケーション技術を身に付けてきた。					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		コミュニケーション技術2			授業形態	演習	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月11日	介護におけるコミュニケーションの基本（振り返り）						テキスト・レジュメ
2	4月18日	コミュニケーションの基本技術（振り返り）						テキスト・レジュメ
3	4月25日	対象者の特性に応じたコミュニケーション 1						テキスト・レジュメ
4	5月9日	対象者の特性に応じたコミュニケーション 2						テキスト・レジュメ
5	5月16日	対象者の特性に応じたコミュニケーション 3						テキスト・レジュメ
6	5月23日	家族とのコミュニケーション 1						テキスト・レジュメ
7	5月30日	家族とのコミュニケーション 2						テキスト・レジュメ
8	6月6日	家族とのコミュニケーション 3						テキスト・レジュメ
9	7月18日	介護におけるチームのコミュニケーション 1						テキスト・レジュメ
10	7月25日	介護におけるチームのコミュニケーション 2						テキスト・レジュメ
11	8月1日	介護におけるチームのコミュニケーション 3						テキスト・レジュメ
12	8月8日	試験対策 1						テキスト・レジュメ
13	8月22日	定期試験						テキスト・レジュメ
14	8月29日	前期まとめ						テキスト・レジュメ
15	8月30日	振り返り						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	生活支援技術Ⅲ		授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	120 時間	・ 8 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>【授業の目的・ねらい】 障害に応じた病態理解と生活を支えるための基本的技術を習得する。 保健医療職の役割と協働・連携について理解する。</p> <p>【授業全体の内容の概要】 主に「こころとからだのしくみ」「発達と老化の理解」「障害の理解」「生活支援技術」の復習を行いながら演習を行う。</p>					
到達目標	<p>症状・所見から病態を説明し、それに合わせた対応を行い、保健医療職に報告・連絡・相談できるスキルを養う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>新・介護福祉士養成講座 8 「生活支援技術Ⅲ」</p>					
単位認定方法	<p>定期試験：事例による実技試験</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として介護療養型病棟などで経験し、急性期を脱してきた方への在宅復帰のサポートをする。さらに救急救命士として救急救命の現場も経験。また、訪問診療で医療的ケア児、高齢者、末期がんなど幅広い年齢層や疾患・障害の方が在宅生活が継続できるようにサポートをしている。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月7日	オリエンテーション ベッドメイキング実技確認テスト						ベッド、リネン類
2	4月7日	オリエンテーション ベッドメイキング実技確認テスト						ベッド、リネン類
3	4月14日	起居動作介助実技確認テスト						ベッド、車いす
4	4月14日	起居動作介助実技確認テスト						ベッド、車いす
5	4月21日	着脱介助実技確認テスト						車いす、衣類
6	4月21日	着脱介助実技確認テスト						車いす、衣類
7	4月28日	排泄介助実技確認テスト						ベッド、オムツ
8	4月28日	排泄介助実技確認テスト						ベッド、オムツ
9	5月12日	事例問題						ベッド、車いすなど
10	5月12日	事例問題						ベッド、車いすなど
11	5月19日	運動機能障害に応じた介護 スライディングシート・ボード、床からの立ち上がり、プッシュアップ						ベッド、車いす、スライディングシート・ボード
12	5月19日	運動機能障害に応じた介護 スライディングシート・ボード、床からの立ち上がり、プッシュアップ						ベッド、車いす、スライディングシート・ボード
13	5月26日	視覚障害に応じた介護						白杖、アイマスク
14	5月26日	視覚障害に応じた介護						白杖、アイマスク
15	6月2日	腎・膀胱機能障害に応じた介護						オムツ、パルーンセット

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
16	6月2日	腎・膀胱機能障害に応じた介護						オムツ、パルーンセット
17	6月9日	直腸機能障害に応じた介護 重症心身障害に応じた介護						オムツ、ストマセット、 リフト
18	6月9日	直腸機能障害に応じた介護 重症心身障害に応じた介護						オムツ、ストマセット、 リフト
19	7月21日	肝機能障害に応じた介護						点滴セット、衣類
20	7月21日	肝機能障害に応じた介護						点滴セット、衣類
21	7月28日	外傷時の対応と応急手当						三角巾
22	7月28日	外傷時の対応と応急手当						三角巾
23	8月4日	振り返り（事例問題）						
24	8月4日	振り返り（事例問題）						
25	8月18日	振り返り（事例問題）						
26	8月18日	振り返り（事例問題）						
27		アドバンスケアプランニング						
28		アドバンスケアプランニング						
29	8月25日	定期試験						
30	8月25日	定期試験						

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月6日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
2	10月6日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
3	10月13日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
4	10月13日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
5	10月20日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
6	10月20日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
7	10月27日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
8	10月27日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
9	11月10日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
10	11月10日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
11	11月17日	国家試験対策						
12	11月17日	国家試験対策						
13	11月24日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
14	11月24日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
15	12月1日	国家試験対策						テキスト、ワークブック

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		生活支援技術Ⅲ			授業形態	演習	担当教員	川崎 英夫
配当年次		2 学年	曜日	木曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
16	12月1日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
17	12月8日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
18	12月8日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
19	12月15日	国家試験対策						定期試験問題
20	12月15日	国家試験対策						定期試験問題
21	12月22日	定期試験						テキスト、ワークブック
22	12月22日	定期試験						テキスト、ワークブック
23	1月5日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
24	1月5日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
25	1月13日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
26	1月13日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
27	1月19日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
28	1月19日	国家試験対策						テキスト、ワークブック
29	2月2日	お金の付き合い方セミナー						
30	2月2日	お金の付き合い方セミナー						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 3		授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	60	時間・4 単位	開講学期	前期・後期
授業の学習 内容	<p>①授業や実習で学んだ知識と技術を統合し、利用者を主体とする生活支援活動の展開方法を学ぶ。 また、他職種との連携における介護福祉士の役割を理解する。</p> <p>②利用者本人が望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を 伴う課題解決の思考過程を習得する。</p>					
到達目標	<p>①介護過程について、知識や技術をもとに、理論的に介護過程を展開できるようになる。</p> <p>②ケアプランと他の専門職が作成するのケア計画と個別援助計画との連動性や チームアプローチについて理解することができる。</p> <p>③実習Ⅱで展開した介護過程を振り返り、文章へまとめ学習発表会に参加する。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>①介護福祉士養成講座 9 介護過程 (中央法規)</p> <p>②必要に応じてプリント</p>					
単位認定方法	<p>①定期試験 60点以上</p> <p>② 出欠席状況</p> <p>③課題・グループワーク参加状況</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、高齢者施設で経験しその後訪問介護事業所で管理者の経験のある教員が 利用者の生活・身体状況に応じた介護過程の展開について、演習を交えて講義する。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 3			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	月曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月11日	オリエンテーション/ 復習					テキスト	
2	4月18日	実習前介護過程の復習①					テキスト	
3	4月25日	介護過程の復習②					テキスト	
4	5月9日	介護過程の復習③					テキスト	
5	5月16日	実習Ⅱに向けての介護過程の復習					テキスト	
6	5月23日	実習Ⅱに向けての介護過程の復習					テキスト	
7	5月30日	実習Ⅱに向けての介護過程の復習					テキスト	
8	6月6日	実習Ⅱに向けての介護過程の復習					テキスト	
9	7月25日	実習Ⅱの振り返り					テキスト	
10	8月1日	実習Ⅱの振り返り					テキスト	
11	8月8日	実習Ⅱの振り返り					テキスト	
12	8月8日	実習Ⅱの振り返り					テキスト	
13	8月15日	実習Ⅱの振り返り					テキスト	
14	8月22日	前期定期試験					テキスト	
15	8月29日	前期のまとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 3			授業形態	講義	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期・後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月3日	オリエンテーション						
2	10月17日	実習Ⅱで展開した介護過程の見直し						
3	10月24日	実習Ⅱで展開した介護過程の見直し						
4	10月31日	事例検討						
5	11月7日	事例検討						
6	11月14日	事例検討						
7	11月21日	事例検討						
8	11月28日	事例検討						
9	12月5日	実習報告会の発表の仕方						
10	12月12日	事例検討						
11	12月19日	事例検討						
12	12月26日	国家試験対策						
13	1月16日	国家試験対策						
14	1月23日	国家試験対策						
15	1月30日	2年間のまとめ						

2021 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護過程 4		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	対象者のニーズを把握し、介護計画作成のためのアセスメントと、他科目で学んだ専門職の視点で、介護計画の立案および転換ができる思考過程を身につける。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々のニーズを的確に把握し、計画的に介護を実践・評価する事ができる。 ・ 把握すべき事実の内容を理解し、課題達成のための実践の内容を計画できる。 					
使用テキスト 参考文献 教材	①中央法規 最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程 ②教職員テキスト					
単位認定方法						
成績評価方法 基準	授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)					
教員実務の 経験	施設勤務や通所介護の相談員の経験から、利用者の介護計画を作成し、実施してきた経験がある。					

2021 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護過程 4			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	基礎医学実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	10月1日	介護過程流れの確認①						
2	10月8日	ケーススタディとは						
3	10月22日	ケーススタディ①						
4	10月29日	" ②						
5	11月5日	" ③						
6	11月12日	" ④						
7	11月19日	" ⑤						
8	11月26日	" ⑥						
9	12月3日	まとめ						
10	12月10日	後期試験						
11	12月17日	国家試験対策						
12	12月24日	国家試験対策						
13	1月7日	国家試験対策						
14	1月14日	国家試験対策						
15	1月28日							

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 3		授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護実践に必要な知識と技術の統合を行なうとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。 ・ 各領域で学ぶ知識と技術の統合、介護実践の科学的探究を通し、介護実習での学びを深め介護の専門職としての考えや態度の形成、実践力を養う総合的な学習とする。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践につながるようになる。 ・ 実習の振り返り、介護の知識や技術を実践と結び付けるとともに、さらに深めることが出来る ・ 質の高い介護実践やエビデンスの構築につながる介護実践について理解できる 					
使用テキスト 参考文献 教材	<ul style="list-style-type: none"> ①介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習 (中央法規) ②必要に応じてプリント 					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ①書類の提出状況 ② 出欠席状況 ③グループワーク参加状況 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の 3 分の 2 以上の出席。 80 点以上の評価点に『A』, 70～79 点の評価点に『B』, 60～69 点の評価点に『C』 59 点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、高齢者施設で経験しその後訪問介護事業所で管理者の経験のある教員が 校外実習に向けての心構え等や書類作成を行なっていく。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 3			授業形態	演習	担当教員	星野 成美
配当年次		2 学年	曜日	金 曜日	開講学期	前期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月8日	オリエンテーション						
2	4月15日	実習の書類作成						
3	4月22日	実習に向けての準備						
4	5月6日	自己目標と施設の概要						
5	5月13日	実習に向けての準備						
6	5月20日	次回の実習に向けての準備						
7	5月27日	次回の実習に向けての準備						
8	6月3日	次回の実習に向けての準備						
9	6月10日	実習書類作成						
10	6月10日	実習Ⅱ 事前指導						
11	7月19日	実習Ⅱ 事後指導						
12	7月22日	訪問介護実習に向けての準備						
13	7月29日	訪問介護実習に向けての準備						
14	8月5日	訪問介護実習に向けての準備						
15	8月19日	訪問介護実習に向けての準備						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護総合演習 4		授業形態	演習	担当教員	笹岡 勉
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>実習モデルに基づき、今までの実習を振り返りながら更なる知識の向上と演習を行う上での介護職の職務のあり方を意識する。</p> <p>介護福祉士に求められる知識、技術、価値、倫理などを総合的に学習し、実習を行い、演習課題を通して「介護とは何か」を考え、自身の介護観を確立する。</p>					
到達目標	<p>実際の介護職員として、利用者を把握しどのような支援を提供できるか、自らの介護職としての考えを伝え、報告する事ができる。</p> <p>介護福祉士としての知識、技術、価値、倫理などを総合的に学び、実践できる。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新 介護福祉士養成講座 10</p> <p>介護総合演習・介護実習</p> <p>教員作成 レジユメ</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) さらに、</p> <p>出席日数、授業態度、グループワークなどを、総合的に評価を行う。</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者対応や介護の知識を身に付けてきた。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		介護総合演習 4			授業形態	演習	担当教員	笹岡 勉
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月5日	オリエンテーション・実習を振り返って					テキスト・レジュメ	
2	10月12日	実習で学ぶ意義					テキスト・レジュメ	
3	10月19日	事例検討 ①					テキスト・レジュメ	
4	10月26日	事例検討 ②					テキスト・レジュメ	
5	11月1日	地域の中での介護職の役割を考える					テキスト・レジュメ	
6	11月9日	施設の中での介護職の役割を考える					テキスト・レジュメ	
7	11月16日	まとめ					テキスト・レジュメ	
8	11月30日	試験対策					テキスト・レジュメ	
9	12月6日	試験対策					テキスト・レジュメ	
10	12月13日	試験対策					テキスト・レジュメ	
11	12月20日	試験対策					テキスト・レジュメ	
12	1月10日	試験対策					テキスト・レジュメ	
13	1月17日	試験対策					テキスト・レジュメ	
14	1月24日	試験対策					テキスト・レジュメ	
15	1月31日	2年間のまとめ						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	介護実習 II		授業形態	実習	担当教員	星野・高松・高橋
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	192	時間・4 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<p>①本人の望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。</p> <p>②介護過程の展開を通して対象者を理解し、本人主体の生活と自立を支援する為の介護過程を実践的に学ぶ。</p> <p>③多職種との協働の中で、介護福祉士としての役割を理解するとともに、サービス担当者会議やケースカンファレンス等を通じて、多職種連携やチームケアを体験的に学ぶ。</p>					
到達目標	<p>①対象となる人の能力を引き出し、利用者主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。</p> <p>②介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。</p> <p>③各領域で学んだ知識と技術を十合氏、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材						
単位認定方法	<p>実習評価点 (60点以上) 出勤状況・実習態度・提出物状況等総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』(履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	認知症の理解 2		授業形態	講義	担当教員	高橋 薫	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習内容	<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>認知症の人の個性に合わせた具体的な支援方法や、家族支援のあり方について考える。 講義・演習・グループワークを通じて、認知症の人の生活支援を考える。</p> <p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>認知症のステージに応じた支援や、その生活する場の違いを把握し、介護職としての関わり方について学ぶ。</p>						
到達目標	<p>【授業終了時の達成課題 (到達目標)】</p> <p>介護福祉士として認知症の人との関わり方を学び、人間の尊厳と自立に向けた取り組みができる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>【使用テキスト・参考文献】</p> <p>最新介護福祉士養成講座 13 「認知症の理解」 (中央法規)</p>						
単位認定方法	<p>【単位認定方法】</p> <p>定期試験 (60点以上) 出席日数、グループワーク・レポート提出 授業態度等、総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として、介護施設で介護職員として勤務。その後、看護師資格を取得後病院勤務経験から、認知症の疾患と必要なケアについて講義する。</p>						

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		認知症の理解 2			授業形態	講義	担当教員	高橋 薫
配当年次		2 学年	曜日	水 曜日	開講学期	前期	使用教室	201 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月13日	シラバス説明・認知症の薬と予防						教科書・プリント
2	4月20日	認知症を取り巻く状況						〃
3	4月27日	認知症ケアの理念と視点①						〃
4	5月11日	〃 ②						〃
5	5月18日	認知症の当事者から見えるもの						〃
6	5月25日	認知症ケアの実際						〃
7	6月1日	アセスメントツール①						〃
8	6月8日	〃 ②						〃
9	7月20日	認知症の人とのコミュニケーション						〃
10	7月27日	認知症の人への様々なアプローチ						〃
11	8月11日	環境づくり						〃
12	8月17日	家族支援						〃
13	8月24日	前期試験						〃
14	8月31日	ケアの実際						〃
15		認知症の人の終末期医療と介護						〃

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	こころとからだのしくみ3		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳	
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間	・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習内容	<p>・ 人体の構造と機能・こころのしくみを知り、加齢によるさまざまな疾患でどのような生活障害は生じるかを理解するとともに、生活障害のメカニズムを知ることにより、高齢者の生活の介護実践との関連性を理解する。</p>						
到達目標	<p>・ 介護サービスを提供する上で「こころとからだのしくみ」が基本であることを理解するとともに、安全確保の重要性を理解できる。</p>						
使用テキスト 参考文献 教材	<p>・ 最新 介護福祉士養成講座 「こころとからだのしくみ」 中央法規</p> <p>・ 必要に応じてプリント</p>						
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上)</p> <p>出欠席状況・授業態度等総合的に評価する</p>						
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>						
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 こころとからだのしくみの講義を行っていく。</p>						

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		こころとからだのしくみ3			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	後期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月4日	休息・睡眠のしくみ					テキスト・参考資料	
2	10月11日	心身の機能低下が休息・睡眠に与える影響					テキスト・参考資料	
3	10月18日	人生の最終段階に関する「死」の捉え方					テキスト・参考資料	
4	10月25日	「死」に対するこころの理解					テキスト・参考資料	
5	11月1日	高齢者の終末期から危篤のケアについて					テキスト・参考資料	
6	11月8日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
7	11月15日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
8	11月22日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
9	11月29日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
10	12月6日	後期試験					試験問題	
11	12月13日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
12	12月20日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
13	1月10日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
14	1月17日	国家試験対策					テキスト・参考資料	
15	1月31日	こころとからだのしくみ 総復習					テキスト・参考資料	

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医療的ケア 2		授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・適切に実施できるように、必要な知識と技術を習得する。 ・喀痰吸引、経管栄養を安全かつ適切に実施できるように学習する。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。 					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新 介護福祉士養成講座 「医療的ケア」 中央法規</p> <p>改定 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・出欠席状況、授業態度を総合的に評価する。 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として特別養護老人ホームやグループホームでの経験を経て、 正看護師として政策医療に携わってきた。介護と医療の双方の分野の視点から、 医療的ケアの講義を行っていく。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア 2			授業形態	講義	担当教員	室津 瞳
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使用物品
1	4月12日	喀痰・吸引の振り返りと留意点及び実施手順の確認						テキスト
2	4月19日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
3	4月26日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
4	5月10日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
5	5月17日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
6	5月24日	喀痰吸引の実施手順の確認（口腔・鼻腔・気管内）						テキスト
7	5月31日	喀痰吸引関係評価						テキスト
8	6月7日	経管栄養の振り返りと留意点及び実施手順の確認						テキスト
9	6月21日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
10	7月19日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
11	7月26日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
12	8月2日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
13	8月9日	経管栄養の実施手順の確認（胃ろう・長ろう・経鼻）						テキスト
14	8月23日	前期試験						試験問題
15	8月30日	前期試験の解説						テキスト

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	医療的ケア演習		授業形態	演習	担当教員	室津 瞳
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・適切に実施できるように、必要な知識と技術を習得する。 ・喀痰吸引、経管栄養を安全かつ適切に実施できるように演習を行う。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①実施の根拠が理解できる ②必要物品の準備ができることを前提に安全・確実に行えるように知識・技術を身に付けることができる。 ③利用者の生活に必要な支援であることを理解できる。 					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>最新 介護福祉士養成講座 「医療的ケア」 中央法規</p> <p>改定 介護職員等による 喀痰吸引・経管栄養研修テキスト</p>					
単位認定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 ・出欠席状況、授業態度を総合的に評価する。 					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。</p> <p>80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』</p> <p>59点以下の評価点に『D』（履修確認不可）</p>					
教員実務の 経験	<p>介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務し、正看護師として政策医療に携わった経験を持つ。</p> <p>また、自身がケアラーとしての経験を踏まえてケアラー支援のNPO法人を運営している立場を持つ。</p>					

2022 年度 介護福祉学科

授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		医療的ケア演習			授業形態	演習	担当教員	室津 瞳
配当年次		2 学年	曜日	火 曜日	開講学期	前期	使用教室	実技実習室 教室
回数	日付	授 業 内 容						使 用 物 品
1	4月12日	吸引前の準備 ①ベッドメイキング ②必要物品の準備 *吸引準備は毎回各グループで行う						テキスト
2	4月19日	口腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
3	4月26日	口腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
4	5月10日	口腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
5	5月17日	鼻腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
6	5月24日	鼻腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
7	5月31日	鼻腔内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
8	6月7日	気管内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
9	6月21日	気管内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
10	7月19日	気管内吸引 ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
11	7月26日	経管栄養について ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
12	8月2日	経管栄養について ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
13	8月9日	経管栄養について ①講師が手順を実施 ②各グループで指導者と実施者がペアになって練習						テキスト
14	8月23日	各個人でテキストを見ないで喀痰吸引の練習						テキスト
15	8月30日	実技試験						評価表

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	国家試験特別講義 1		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	前期
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家試験の過去問題を学習し、基礎知識を広げ、各領域の知識習得を目指す。 ・ 国家試験問題を繰り返し学習することにより、介護の基礎知識を身につける。 ・ 国家試験を意識する。 					
到達目標	<p>基礎知識を習得することによって、根拠を持った介護が出来るようにする。 国家資格のプロとして、より多くの知識を持つことが出来る。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>各種国家試験過去問題 介護福祉士国家試験問題集 等</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』, 70～79点の評価点に『B』, 60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、対象者対応や介護の知識を身に付けてきた。</p>					

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		国家試験特別講義 1			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	前期	使用教室	201・202 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	4月11日	オリエンテーション・人間と社会の領域 1					国家試験過去問題	
2	4月18日	介護の領域 1					国家試験過去問題	
3	4月25日	こころとからだのしくみの領域 1					国家試験過去問題	
4	5月9日	人間と社会の領域 2					国家試験過去問題	
5	5月16日	介護の領域 2					国家試験過去問題	
6	5月23日	こころとからだのしくみの領域 2					国家試験過去問題	
7	5月30日	人間と社会の領域 3					国家試験過去問題	
8	6月6日	介護の領域 3					国家試験過去問題	
9	7月19日	こころとからだのしくみの領域 3					国家試験過去問題	
10	7月25日	医療的ケア・総合問題 1					国家試験過去問題	
11	8月1日	医療的ケア・総合問題 2					国家試験過去問題	
12	8月8日	医療的ケア・総合問題 3					国家試験過去問題	
13	8月22日	試験対策 1					国家試験過去問題	
14	8月29日	定期試験					国家試験過去問題	
15	8月30日	前期振り返り						

2022 年度 介護福祉学科 授業内容日程表

大川学園医療福祉専門学校

科目名		国家試験特別講義 2			授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次		2 学年	曜日	月 曜日	開講学期	後期	使用教室	203 教室
回数	日付	授 業 内 容					使 用 物 品	
1	10月3日	オリエンテーション・国家試験対策問題（人間と社会の領域1）					問題演習プリント	
2	10月17日	国家試験対策問題（介護の領域1）					問題演習プリント	
3	10月24日	国家試験対策問題（こころとからだにしくみの領域1）					問題演習プリント	
4	10月31日	国家試験対策問題（人間と社会の領域2）					問題演習プリント	
5	11月7日	国家試験対策問題（介護の領域2）					問題演習プリント	
6	11月21日	国家試験対策問題（こころとからだにしくみの領域2）					問題演習プリント	
7	11月28日	国家試験対策問題（人間と社会の領域3）					問題演習プリント	
8	12月5日	国家試験対策問題（介護の領域3）					問題演習プリント	
9	12月12日	国家試験対策問題（こころとからだにしくみの領域3）					問題演習プリント	
10	12月19日	国家試験対策問題（総合問題1）					問題演習プリント	
11	12月26日	国家試験対策問題（総合問題2）					問題演習プリント	
12	1月16日	国家試験対策問題（人間と社会の領域4）					問題演習プリント	
13	1月30日	国家試験対策問題（介護の領域4）					問題演習プリント	
14	2月3日	国家試験対策問題（こころとからだにしくみの領域4）					問題演習プリント	
15	2月6日	振り返り						

2022 年度 介護福祉学科 授 業 要 項

大川学園医療福祉専門学校

科目名	国家試験特別講義 2		授業形態	講義	担当教員	高松 浩之
配当年次	2 学年	時間数 (単位数)	30	時間 ・ 2 単位	開講学期	後期
授業の学習 内容	<p>国家試験問題を繰り返し学習することにより、介護の基礎知識を身につける。 国家試験を意識し、問題演習を行っていく。 過去の試験問題を学習し、基礎知識を広げ、各領域の知識習得を目指す。</p>					
到達目標	<p>基礎知識を習得することによって、根拠を持った介護が出来るようになる。 国家資格のプロとして、より多くの知識を持つことが出来る。 知識の向上により、現場で活かせるスキルを身に付ける。</p>					
使用テキスト 参考文献 教材	<p>各種国家試験過去問題 介護福祉士国家試験問題</p>					
単位認定方法	<p>定期試験 (60点以上) 出席日数、授業態度等、総合的に評価する</p>					
成績評価方法 基準	<p>授業日数の3分の2以上の出席。 80点以上の評価点に『A』,70～79点の評価点に『B』,60～69点の評価点に『C』 59点以下の評価点に『D』 (履修確認不可)</p>					
教員実務の 経験	<p>授業を担当する教員は、介護福祉士として障害者支援施設・高齢者施設に長年勤務し、介護職として、施設利用者への知識向上のための知識や技術を身に付けてきた。</p>					